

# 知財情報活用講座(東京)

～パソコン演習・グループ討議で学ぶ知財情報活用の実践～

今年は、パソコンを使用した演習を行います！



担当  
講師

## ・講座コーディネーター

野崎 篤志(のざき あつし)

株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント

## ・担当講師

第 1/2/4 回 野崎 篤志(のざき あつし)

株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント

第 3 回 山口 和弘(やまぐち かずひろ)

創英国際特許法律事務所 弁理士

第 5 回 中村 栄(なかむら さかえ)

旭化成株式会社 知的財産部 技術情報グループ グループ長

実施  
日程

- 第1回:8月26日(土) 14:10~17:20 TKP 新橋汐留 BC (野崎)
- 第2回:9月 9日(土) 10:10~13:20 TKP 新橋汐留 BC (野崎)
- 第3回:9月 9日(土) 14:10~17:20 TKP 新橋汐留 BC (山口和)
- 第4回:9月23日(土) 10:10~13:20 TKP 新橋汐留 BC (野崎)
- 第5回:9月23日(土) 14:10~17:20 TKP 新橋汐留 BC (中村)

受講料

50,000円(税込・テキスト代込)

対象者

- ・ 知財経営コンサルタントを目指す方であり、知的財産情報(特に特許・意匠情報)をベースに、自社や支援先企業へ知財戦略策定や研究開発支援を行いたいと考えている方
  - ・ パソコン演習やグループディスカッションを通じて知財情報調査・分析およびその活用に関する知識・スキルを体系的に習得したい方
- \* 講座内容は、各自のパソコンを使用した演習を行う他は、昨年度までと大幅なコンテンツの変更はございませんので、ご注意下さい。

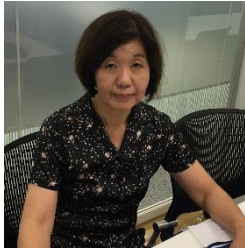
受講者の声

- ・ 改めて特許調査の重要性を認識することができました。
- ・ 目的設定の仕方、調査方法の選定及びその結果のとらえ方を把握することができました。
- ・ ベンチャーキャピタルのところで価値評価の手法が大変勉強になりました。
- ・ 社員教育とアウトソーシングの比率を見直すきっかけになりました。
- ・ どのような特許をビジネスチェーンのどこで取得すれば利益につながるのかを考慮する必要性を認識できました。

<p><b>概要</b> <b>ねらい</b></p>	<p>グローバル化が進展し、様々な製品・サービスがコモディティ化する現在において、戦略的な知的財産の活用によって事業戦略やビジネスモデルを確立・推進し、自社既存ビジネスの保護・発展および新規事業の開発が必要とされています。そのような業務を遂行できる「知財経営コンサルタント」として、企業の事業戦略および研究開発戦略策定に貢献するためには、知財情報の調査・分析を戦略的に行った上で、分析結果に基づく知財面からの解決策提示・戦略立案をする知識・スキルが必要とされます。</p> <p>本講義では、知財情報調査・分析業務に従事しているコーディネーターと特許事務所及び企業の現場で実際に知財情報調査・分析結果を利用・活用されている講師陣からプログラムが構成されています。単なる座学ベースの講座ではなく、事前課題、パソコン演習およびグループディスカッションも交えることによって知財情報を活用するための基礎知識およびスキル・テクニックを体系的に習得していただきます。</p>
<p><b>到達目標</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知財情報調査・分析について体系的な知識・スキルセットを習得する。</li> <li>● 各種知財情報調査・分析について基礎知識を習得し、簡単な先行技術調査については J-PlatPat を用いて自ら実施することができる／複雑な知財情報調査・分析については外部調査機関をリードすることができる。</li> <li>● 知財情報調査・分析結果をベースに、解決策提示・知財戦略立案を行うことができる。</li> </ul>
<p><b>形式及び内容</b> <b>(予定)</b></p>	<p><b>講義およびグループ討議形式</b> <span style="float: right;"><b>★パソコン演習</b></span></p> <p><b>**ノートパソコンは、受講者が各自で持参して下さい**</b></p> <p><b>第1回:知財情報調査・分析の基礎知識</b></p> <p><b>講師:野崎篤志氏(株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 知財情報調査の基礎知識(講義) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 知財調査・分析の必要性</li> <li>● 知財調査・分析の種類とその目的</li> <li>● 知財調査・分析のステップ</li> <li>● 各種知財調査・分析結果のまとめ方・アウトプット例</li> </ul> </li> <li>② ★知財情報調査・分析で利用するデータベース <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無料データベース・ツール</li> <li>● 有料データベース・ツール</li> </ul> </li> <li>③ 事前課題の説明: J-PlatPat 等を用いた検索式の作成(第2回前にメールで提出)</li> </ol> <p><b>第2回: 知財情報調査における実務スキル</b></p> <p><b>講師:野崎篤志氏(株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ★特許検索式の作成・構築(第1回時の事前課題の解説を交えながら) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調査条件の設定</li> <li>● 検索キー(キーワード・特許分類)の選定</li> <li>● 検索キーの組み合わせ(特許検索マトリックス)</li> <li>● データベース検索・リスト作成</li> </ul> </li> <li>② ★意匠検索・商標検索</li> <li>③ ★調査目的別(出願前調査/無効資料調査/侵害防止調査)の検索式作成・構築の留意点</li> </ol> <p><b>第3回:弁理士業務と知財情報調査およびその活用シーン</b></p> <p><b>講師:山口和弘氏(創英国際特許法律事務所 弁理士)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 弁理士業務と特許調査</li> <li>② 特許調査の基礎知識・周辺知識</li> <li>③ ★調査目的別の業務の流れと留意点(出願前調査(先行技術調査)/無効資料調査/侵害防止調査)</li> <li>④ ★グループ討議・・・ニュース、裁判例等の具体的な事例をベースにして、出願前調査・無効資料調査・侵害防止調査を実施する際に検討すべき事項をディスカッション</li> <li>⑤ 事前課題の説明: パテントマップ事例に基づく母集団設計・マップの解釈(第4回前にメールで提出)</li> </ol> <p><b>第4回:知財情報分析における実務スキル</b></p> <p><b>講師:野崎篤志氏(株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 知財情報分析およびパテントマップの基礎知識</li> <li>② 知財情報分析のデザイン</li> <li>③ ★MS Excel および無料ツールを用いた知財情報分析</li> <li>④ ★パテントマップ・分析結果の解釈と、非知財情報の活用</li> </ol> <p><b>第5回:企業における知財情報分析および戦略策定</b></p>

	<p>講師:中村栄氏(旭化成株式会社 知的財産部 技術情報グループ グループ長)</p> <p>① 旭化成グループの事業戦略・知財戦略  ② ★業界・業種による知財戦略の違い  ③ 企業における知財情報調査・分析の事例と情報解析ツール  ④ ★グループ討議:新規市場参入を図る上で必要となる知財情報分析および知財戦略の策定</p>
<p>事前読込 テキスト</p>	<p>・野崎篤志、弁理士が知っておきたい国内外特許情報調査の基礎知識、特許、Vol.67、No.1、2014年  <a href="http://www.jpaa.or.jp/old/activity/publication/patent/patent-library/patent-lib/201401/jpaapatent201401_031-042.pdf">http://www.jpaa.or.jp/old/activity/publication/patent/patent-library/patent-lib/201401/jpaapatent201401_031-042.pdf</a>  * 弁理士会ウェブサイト&gt;出版・冊子&gt;月刊「特許」&gt;過去の記事内容 からPDF 閲覧可能  ・工業所有権情報・研修館、「知財情報の有効活用のための効果的な分析方法に関する調査研究」2010年  <a href="http://www.inpit.go.jp/katsuyo/shiryo/shiryo00002.html">http://www.inpit.go.jp/katsuyo/shiryo/shiryo00002.html</a></p>
<p>参考図書</p>	<p>・野崎篤志、「特許情報分析と特許マップ作成入門 改訂版」、発明推進協会、2016年  ・野崎篤志、「特許情報調査と検索テクニック入門」、発明推進協会、2015年  ・丸島儀一、「知的財産戦略」、ダイヤモンド社、2011年  ・鮫島正洋・小林誠、「知財戦略のススメ」、日経BP、2016年  ・久慈直登、「喧嘩の作法」、ウェッジ、2015年  ・東智朗・尼崎浩史、「できるサーチャーになるための 特許調査の知識と活用ノウハウ」、オーム社、2015年  ・特許庁、「戦略的な知的財産管理に向けて-技術経営力を高めるために-&lt;知財戦略事例集&gt;」、2007年  <a href="http://www.jpo.go.jp/torikumi/hiroba/chiteki_keieiryoku.htm">http://www.jpo.go.jp/torikumi/hiroba/chiteki_keieiryoku.htm</a>  ・特許庁、「知的財産戦略に資する特許情報分析事例集-特許情報分析事例集-」、2010年  <a href="http://www.jpo.go.jp/shiryou/s_sonota/bunsekisyuhou_jirei.htm">http://www.jpo.go.jp/shiryou/s_sonota/bunsekisyuhou_jirei.htm</a>  ・特許庁、「知的財産権活用企業事例集 2016」、2016年  <a href="https://www.jpo.go.jp/torikumi/chushou/kigyuu_jirei2016.htm">https://www.jpo.go.jp/torikumi/chushou/kigyuu_jirei2016.htm</a>  ・関東経済産業局、知財戦略コンサルティング活用事例集および知財活用事例&amp;知財支援策活用ガイド  <a href="http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/tokkyo/houkoku.html">http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/tokkyo/houkoku.html</a>  ・特許庁、「平成28年度高度な特許情報サービスの普及活用に関する調査」、2017年  <a href="http://www.jpo.go.jp/shiryou/toushin/chousa/sangyou_zaisan_service_houkoku.htm">http://www.jpo.go.jp/shiryou/toushin/chousa/sangyou_zaisan_service_houkoku.htm</a>  ・工業所有権情報・研修館、「海外ビジネスで知っておきたい知的財産のポイント」eラーニング」  <a href="http://www.jpo.go.jp/shiryou/toushin/chousa/sangyou_zaisan_service_houkoku.htm">http://www.jpo.go.jp/shiryou/toushin/chousa/sangyou_zaisan_service_houkoku.htm</a>  ・工業所有権情報・研修館、「グローバル知財マネジメント人材育成教材」、2017年  <a href="http://www.inpit.go.jp/jinzai/global/global_material.html">http://www.inpit.go.jp/jinzai/global/global_material.html</a></p>
<p>講師 略歴</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <p>◆野崎 篤志 氏  (株式会社イーパテント 代表取締役/知財情報コンサルタント)</p> <p>日本技術貿易株式会社 IP 総研コンサルティングソリューショングループのマネージャーを経て、外資系特許調査・分析企業であるランドン IP 日本オフィス立ち上げ時に参画し、顧客開拓・マネジメント全般を統括し、日本におけるランドン IP の業績拡大・ブランド構築に大きく貢献。平成29年5月に株式会社イーパテントを設立し、代表取締役社長に就任。自動車・エネルギーおよびヘルスケア分野を中心に先行技術調査・無効資料調査や侵害防止調査だけではなく、技術動向分析、競合他社分析、知財デューデリジェンス、新規用途探索・アイデア創出などの知財情報コンサルティング業務に従事。著書に「特許情報分析と特許マップ作成入門 改訂版」(発明推進協会)、「特許情報調査と検索テクニック入門」(発明推進協会)などがある他、論文・寄稿多数。東京理科大学院イノベーション研究科非常勤講師、金沢工業大学院 イノベーションマネジメント研究科 客員准教授、発明推進協会講師など。</p> </div> </div> <div style="display: flex; margin-top: 20px;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <p>◆山口 和弘 氏  (創英国際特許法律事務所・弁理士)</p> <p>東京都立大学大学院修士課程(機械工学)修了。外国特許出願支援、特許調査を始めとして、様々な知的財産関連の業務を経験し、現在は国内外の特許出願、審判、鑑定、調査、コンサルティング等のほか、知財関連の情報発信にも従事。2006年弁理士登録。日本国際知的財産保護協会 AIPPI 編集委員(2014年10月～現在)。日本弁理士会・中央知的財産研究所研究員(2013年2月～2016年3月)、国際活動センター委員(2012年4月～2016年3月)等を歴任。論文については「グレースピリオドの適用が想定される特許出願における最適な権利取得とは?」(日本知的財産協会)、「Japanese Patent Litigation and Its Related Statistics - Current Environment and Future Agenda -」(AIPPI)など、研修講師については「中央知的財産研究所設立20周年記念(第13回)公開フォーラム 進歩性について-更なる研究- * 共同講師」(日本弁理士会)、「国際ビジネスのための外国特許入門 ~これから外国特許権の取得を考える方のための基礎知識と実務~」(広域関東圏知的財産戦略本部(関東</p> </div> </div>

経済産業局)等主催)など。



◆中村 栄 氏

(旭化成株式会社 知的財産部 技術情報グループ グループ長)

1985年旭化成株式会社入社、研究所勤務の後、1989年より知的財産部勤務。1998年に組織された旭化成グループ全社の技術情報調査セクションの責任者に就任。京都大学大学院非常勤講師、東京農工大学大学院非常勤講師(2006～2008年)、横浜市立大客員講師(2010年～)のほか、講演・寄稿多数。また、2014年以降、日本知的財産協会 C9A コース(特許情報と特許調査実践)の講師を担当。一般財団法人 工業所有権協力センター(IPCC)主催 特許検索競技大会実行委員長。